

7 メシマコブ菌糸体由来物質の一般
毒性試験及びI型アレルギー反応
抑制試験の検討

○中村友幸（㈱アイビーアイ応用きのこ研、山梨
大学工学部物質・生命工学科）、松郷誠一・兎束
保之（山梨大学工学部物質・生命工学科）、岡野
哲郎・松尾純孝（北里大学医療衛生学部）

【目的】 キコブタケ属メシマコブの菌糸体由来
物質を検査体として、一般毒性試験及びI型アレ
ルギー反応抑制に対する基礎データを収集した。

【方法】 メシマコブ (*Phellinus linteus*) は、
㈱アイビーアイ応用きのこ研究所保有菌株 PL-08
を用いた。大量培養したメシマコブ菌糸体（検
査体I）、菌糸体熱水抽出物（検査体II）、および
培養濾液（検査体III）のラット、マウスに対する
単回経口投与急性毒性試験を行った。また、検査
体II、或いは検査体IIIを添加した飼料を調製し、
皮膚炎症モデルマウス（アトピー性皮膚炎自然
発生マウス、NC/Nga, mouse）を用いた動物実験
で、肉眼病理所見ならびに血中IgE総量の経時的
測定を行った。

【結果・考察】 メシマコブに由来する全ての検
査対象物質（検査体I～III）は、経口投与2g/kg
以下の用量では毒性兆候の発現はないと判断され
た。また、I型アレルギー反応抑制試験では、検
査体II及び検査体IIIの混合飼料摂取群が control
群と比較して、有意に血中IgE産生を抑制する結
果が得られた。この傾向は、検査体II投与群で顕
著であった。肉眼的皮膚所見では、control群に
比して検査体II及び検査体IIIを混合した飼料摂取
群で、明らかに皮膚アレルギー症状の抑制作用が
認められた。今回の動物実験で、メシマコブ菌糸
体由来物質は、I型アレルギー反応抑制に効果が
あると明らかにできた。